

ふゆやすみにおすすめのほん

2021年12月和光市図書館



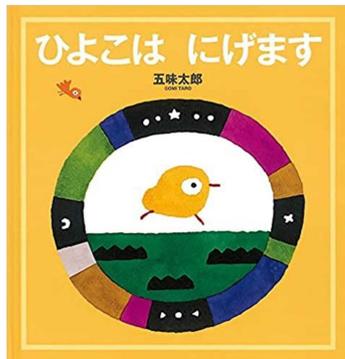
わ こうし とし ょ かん し ゃ くいん え ら ふ ゆ や す よ ほ ん し ょ う かい
和光市図書館の職員が選んだ「冬休みに読んでほしい本」を紹介します。

よ う じ し ょ う が く ね ん せい ね ん せい ね ん せい ね ん せい よ
幼児むけ、小学1、2年生むけ、3、4年生むけ、5、6年生むけです。ぜひ読んでみてください。

よ ほ ん か し だ し ち ゅ う よ や く と し ょ かん か う ん た い ひ と こ
読みたい本が貸出中のときは予約できます。くわしくは、図書館のカウンターの人に聞いてください。



よ う じ
幼児むけ



『ひよこは にげます』

こ み た ろ う さ く ふ くいんかんしよてん ねんはつこう ぶんるい
五味 太郎 作 福音館書店 2021年発行 分類 Eアカ

おうちを にげだした ひよこたち。 そとへでて どんどん
すすんで いきます。 にげて たどりついたところは…。

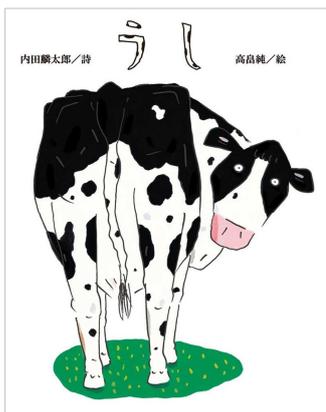
『きんぎょがにげた』から 40年。「子どもは逃げるものだ、
逃げながら成長していくものだ」という作者の五味太郎さんの思いが
込められた1冊です。



『こねこのウィンクルとクリスマスツリー』

る - す え い ん す わ - す さ く か み じ ょ う ゆ み こ や く さ と う ゆ う す け え
福音館書店 2021年発行 分類 Eアオ

クリスマスが ちかづいた あるひ、 いえの ひろまに
クリスマスツリーが かざられました。 こねこの ウィンクルは
においを かいだり さわったり したかったのですが おかあさん
に だめと いわれてしまいます。 がまんが できない
ウィンクルは みんなが ねむった よるに クリスマスツリーに
のぼります。 すると てっぺんには ようせいが いて…。



『うし』

う ち だ り ん た ろ う し た か ば た け じ ゅ ん え あ り す か ん ねんはつこう ぶんるい
内田 麟太郎 詩 高 島 純 絵 アリス館 2017年発行 分類 Eミド

「うし うしろをふりかえた」「うしがいた」「そのうしろのうしも
うしろをふりかえた」「うしがいた」うしがふりかえると、めをまん
まるくした うしが います。うしは どんどん ふえてみどりの
はらっぱに うしの ぎょうれつが できていきます。 こえに出し
て よみたくなる くりかえしが たのしい詩の絵本です。



『^{ひかり}光の^{たび}旅^{たび}かげの旅』

^{あん}アン・^{じよなす}ジョナス 作 ^{うち}内海 ^{まお}まお 訳 ^{ひやうろんしゃ}評論社 1984年発行 分類 Eキ



あけがた^{いえ}家を出^{しゅっぱつ}発して、^{ちい}小さな^{のうじょう}まちや 農^{うみべ}場^{とお}や 海^お辺^おを通^おり、
おお^おきな^おまちに や^おって^おき^おまし^おた。 ^よさい^{ほん}ご^{ほん}ま^{ほん}で^{ほん}読^{ほん}んだ^{ほん}ら、 ^{ほん}本^{ほん}を^{ほん}さ^{ほん}か^{ほん}さ^{ほん}に ^{ほん}し^{ほん}て^{ほん}み^{ほん}よ^{ほん}う。

来^きた^{みち}道^{みち}を^{みち}も^{みち}ど^{みち}ると、 ^あら^あふ^あし^あぎ、 ^さっ^さき^さま^さで^さの ^けし^けき^けが、
ま^まった^まく^まち^まが^まって ^みえ^みま^みす^みよ!

^そら^そは^そく^そら^そく^そな^そり、 ^まち^まじ^まじ^まう^まに ^あか^あり^あが^あと^あも^あり、 ^はな^はな^はび^はが ^あが^あり、
^あめ^あが^あふ^あり^あは^あじ^あめ、 ^とん^とね^とる^とを^とぬ^とけ^とると、 ^つき^つに^つて^つら^つさ^つれた^つ
^わが^わ家^わに ^もど^もっ^もて^もき^もまし^もた。

^いち^いど^いに^いニ^い回^いし^いめ^いる、 ^しろ^しと^しく^しろ^しの^しえ^しほ^しん^しの^し絵^し本^しです。

『^{つとむ}ツトムと^{ねこ}ネコの^{ひの}ひの^{よう}よう^{じん}じん』

にし^こかわ ^おさ^おむ ^{ぶん}ぶん・^ええ ^{こみねしよてん}小^{ねんはつこう}峰^{ぶんるい}書店 2017年発行 分類 913



ツ^つト^つム^つは ^おか^おっ^おぱ^おあ^おた^おま^おの ^{げん}元^{げん}気^{げん}な^{げん}男^{おとこ}の^こ子^こ。 ^う海^うの^うい^うき^うもの^うの^う
こ^こと^こな^こら ^{なん}で^{なん}も^{なん}し^{なん}て^{なん}い^{なん}ま^{なん}す。 ^そん^そな^そな^そツ^つト^つム^つの^つま^つわ^つり^つで、 ^おこ^お
る^おじ^おけん^おて ^どん^どな^どな^どこ^どと^どと ^{おも}思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す^{おも}か?

ね^ねこ^ねの^ねひ^ねの^ねよう^ねじん^ねが、 ^まち^まを^まパ^まト^まロ^まール^まし^まて^まい^まる^まと^まころ^まに ^でく^で
^わし^わた^わり、 ^{ぺん}ペン^{ぺん}ギ^{ぺん}ン^{ぺん}の^{ぺん}ゆう^{ぺん}び^{ぺん}ん^{ぺん}や^{ぺん}さ^{ぺん}ん^{ぺん}の、 ^{ねん}ね^{ねん}が^{ねん}じ^{ねん}ょう^{ねん}を^{ねん}く^{ねん}ば^{ねん}る^{ねん}
て^てつ^てだ^てい^てを^てし^てて^てあげ^てたり^てと、 ^ゆか^ゆい^ゆな^ゆこ^ゆと^ゆが ^いっ^いぱ^いい^いです。

あ^あた^あた^あか^あい^あ気^あ持^あち^あに^あな^あれ^ある、 ⁶つ⁶の ^たの^たしい^たお^た話^たが ^いっ^いぱ^いい^いです。
ま^ます。 ^この^こき^こせ^こつ^こに、 ^ぜび^ぜ ^よ読^よん^よで^よみ^よて^よく^よだ^よさ^よい。

『^てテ^てディ^て・^ろロ^ろビン^ろソン^ろと^{さん}サン^{さん}タ^{さん}ク^{さん}ロ^{さん}ース^{さん}』

^{じょん}ジョン・^じG・^ろロ^ろビン^ろソン 作 ^{こみや}小^{ゆう}宮^{やく}由 訳

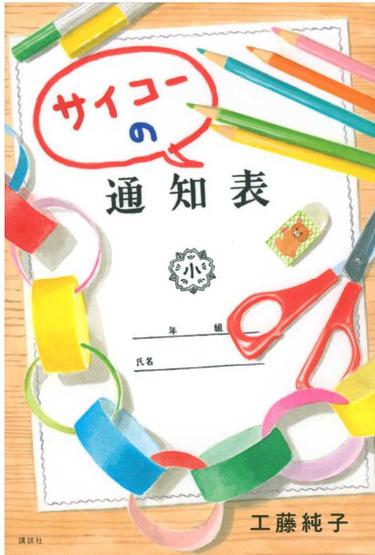
^{いわなみしよてん}岩^{ねんはつこう}波^{ぶんるい}書店 2012年発行 分類 933 〇



テ^てディ^て・^ろロ^ろビン^ろソン^ろは、 ^てぼ^てら^てと^てい^てう ^お女^おの^おこ^おが^おも^おっ^おて^おい^おる、
^ち茶^ち色^ちく^ちて、 ^だき^だご^だご^だち^だの^だい^だい、 ^くク^くマ^くの^くぬ^くい^くぐ^くる^くみ^くです。 ^に人^に間^にや^に
^どう^どぶ^どつ^どと、 ^おし^おしゃ^おべ^おり^おす^おる^おこ^おと^おだ^おて^おて ^でき^でち^でや^でい^でま^です。

あ^ある ^くリ^くス^くマ^くス^くの^く夜^く、 ^てぼ^てら^ての^て部^て屋^てに^てや^てっ^てて^てき^てた^てサ^てン^てタ^てク^てロ^てース^て
か^から、 ^おも^おい^おが^おけ^おな^おい^お話^おを^おき^おいた^おテ^おディ^お・^ろロ^ろビン^ろソン^ろ、 ^さて^さ
サ^さン^さタ^さは ^どん^どな^どな^どこ^どと^どを ^き聞^きか^きせ^きて^きく^きれ^きた^きので^きし^きょう^きか。

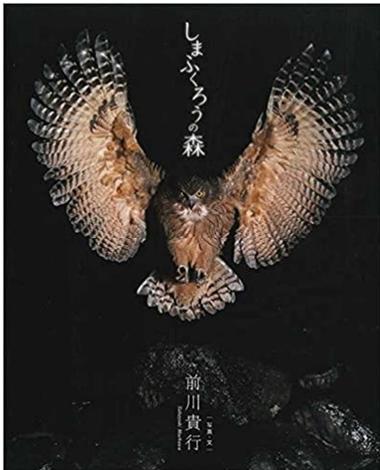
そ^その^そほ^そか、 ^おか^おし^おく^おて、 ^かわ^かい^から^かしい^かお^か話^かが ⁶つ⁶入^はっ^はて^は
い^いま^いす。 ^テディ^て・^ロロ^ろビン^ろソン^ろは ^シリ^しー^しズ^しに^しな^しっ^して^しい^しるので、 ^ぜび^ぜ
ほ^ほか^ほの^ほ本^{ほん}も、 ^よ読^よん^よで^よみ^よて^よく^よだ^よさ^よい。



『サイコーの通知表』

こうどう じゆんこ ちよ こうだんしゃ ねんはつこう ぶんるい
工藤 純子 著 講談社 2021年発行 分類 913

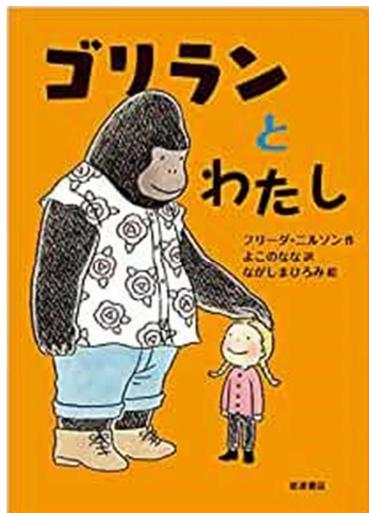
「通知表なんて、ただの紙切れじゃん。あんなので、ぼくらの何がわかるの？」通知表に疑問を持っていた朝陽は、ある時、お父さんから「会社では、部下も上司の成績をつけることがある」という話を聞きました。先生の通知表をつけようよ、という朝陽の提案から、クラスのみんなで担任のハシケン先生の通知表をつけることになりました。項目を考えたり、先生をよく観察したり、なかなか大変な仕事でした。朝陽たちが作った先生の通知表はどんな内容だったのでしょうか？通知表を受け取ったハシケン先生の反応は…？



『しまふくろうの森』

まえかわ たかゆき しゃしん ぶん しまふくろう ねんはつこう ぶんるい
前川 貴行 写真・文 あかね書房 2020年発行 分類 488

北海道に生息するしまふくろうは、世界最大級のふくろうであり、日本の天然記念物です。開発によって、しまふくろうが住む森が少なくなってしまうため数が減り、現在では絶滅寸前となっています。この本では、しまふくろうのヒナの巣立ちから、狩りの様子、森の中での姿など、北海道の自然と共に美しい写真で見ることができます。これ以上、しまふくろうの数を減らさないようにするには私たちはどうしたらいいのか、一緒に考えてみませんか？



『ゴリランとわたし』

フリーダ・ニルソン 作 よこの なな 訳 ながしま ひろみ 絵
いわなみしよてん ねんはつこう ぶんるい
岩波書店 2021年発行 分類 949 二

ヨンナは、親のいないこどものいえくヨモギギク園>に住んでいます。ある日、ヨンナを引き取りたいとやって来たのは身長二メートルで丸いおなか、上半身ははだかで、ズボンだけをはいていたゴリラでした！最初は嫌だと思っていたヨンナですが、次第に、ゴリラン（ゴリラの名前）とヨンナはうまくやっていく方法を見つけます。新しく家族になるヨンナとゴリランは、相棒であり、友達でもあります。困難に立ち向かうふたりの姿を応援したくなる本です。



『カレーライスを一から作る 関野吉晴ゼミ』

まえだ あき ちよ ぽぷら社 2017年発行 分類 610

みんなが大好きなカレーライス。手軽に作れるので、作ったことがある人も多いと思います。この本は、探検家で大学教授でもある関野吉晴さんが、大学の授業で学生たちと一緒にカレーライスを一から作った9か月間の記録です。

カレーに入れる米や野菜、スパイスを種や苗から育てて収穫し、肉となる動物を育ててやがて殺して肉にし、器やスプーンも全部自分たちで作っていきます。カレーが完成するまでの間に学生たちは悩み、迷い、喜び、悲しみ、様々な経験を重

ね、今まで気づかなかったこと、見えていなかったことに気づいていきます。

この本を読むと、スーパーにきれいに並び野菜や肉を見る目が変わるかもしれません。



『リボンちゃん』 村上雅郁作 フレーベル館 2021年発行 分類 913

小6の朱理は、家でも学校でもあかちゃんあつかいされている女の子。そんな朱理は、大きなリボンをいつも付けている転校生の理緒の面倒をみるよう、先生から頼まれて張り切ります。あかちゃんあつかいせずに、対等に接してくれる理緒は、いつしか朱理にとって大切な友だちになっていきます。

そんな理緒が家庭内の「オオカミ」に傷つけられていることを知り……。朱理は大人を巻き込み、何とか理緒を暗闇から救い出そうと必死に戦います。今まで朱理を軽くあしらっていた家族も友達も、朱理の熱意に動かされ……。

もしあなたが「信じられる大人や友達がいない」と感じているなら、それは自分自身の気持ちを伝えていないからかもしれません。熱意は必ず伝わると信じさせてくれるお話です。ぜひ親子で読んでみてください。



『シンドバッドの冒険 ~アラビアン・ナイト~』

さいとう ひろし やく ちよ ひとつく え かいせいしゃ ねんはっこう ぶんるい
斉藤 洋 [訳]著 一徳 画 偕成社 2004年発行 分類 929シ

”シンドバッドの冒険”や”アラビアン・ナイト”という言葉は聞いたことがあっても、じっくり読んだことがある人は少ないのではないのでしょうか？

”アラビアン・ナイト”は、正式には『千夜一夜物語』といい、1001夜にかけて語られたと言われている物語で、何百年にも渡って語り継がれてきました。『シンドバッドの冒険』はその第536夜から第566夜に語られたお話です。

商人のシンドバッドは、島ほどある巨大魚、象をも飲み込む巨大鳥ルフ、一度おんぶしてやると死ぬまで離れない海じいなど、奇想天外な生き物に次々に遭遇し、何度も死にそうになりながらも、7回の航海を生き延び、大金持ちになっていきます。ハラハラドキドキの冒険の世界に、ページをめくる手が止まらなくなること間違いなしです。

いろいろな”アラビアン・ナイト”が出版されていますが、本シリーズは厳選された話が全4巻にまとめられていて、とても読みやすいので入門書としておすすめですよ。アラビアン・ナイトの魅力にはまった人は、いつか1001話読破にチャレンジしてみてください。